

【研究概要】

日本人における静脈血栓塞栓症の長期予後や従来治療の効果を前向き観察研究により明らかにする。対象は症候性急性肺血栓塞栓症、急性中枢型深部静脈血栓症、ならびに急性下腿限局型深部静脈血栓症とし、主要エンドポイントは52週間後までの症候性静脈血栓塞栓症の再発と出血性有害事象の発症とする。